



九条の会. ひがしなだ ニュース

第 109 号

2019年
1月24日

事務局 西谷利文 Tel 080-1485-5603 E-mail nishi-t@hm.h555.net

深草徹の「ここがポイント」特別編

ここでも不正操作が

深草 徹



一昨年来、森友・加計問題に関する公文書、働き方改革関連法案にかかわる労働実態調査や外国人受け入れ枠拡大法案（入管法改正案）に関連する技能研修生の調査資料など、この国の行政の信頼度を棄損する事態が相ついでいます。加えて、マイキン（毎月勤労統計調査）の不正操作が明るみに出ました。実はこの問題、昨年1月からのマイキンの前年同月比賃金増減幅が、かなりプラスに変じ、とりわけ6月度には3.3%増となったことから、安倍首相に付度してデータ改ざんが行われているのではないかと、との指摘が一部から、なされていきました。500人以上の企業は本来、全数調査のところ、2004年から東京都内については三分の一の抽出調査に切り替え、厚労省は、秘密裏に実施していたのです。

この不正データによって、マイキンによる平均賃金額をもとに給付額が決定される失業給付、労災保険給付など約560億円もの過少給付がなされていたことをはじめ、その影響は多方面に及ぶことが明らかとなりました。

さらに深刻なのは、昨年1月以後、これまた秘密裏に補正措置をとるようになり、それが見掛け上、賃金上昇幅を押し上げたこと。安倍首相は、アベノミクスの成否を占う指標として賃金上昇を掲げ、官製賃上げ相場を画策していたことは周知のとおりで、この措置が、渡りに船となったことは明瞭です。

安倍首相は、憲法「改正」など唱える前に、行政の信頼回復措置を急ぐべきでしょう。

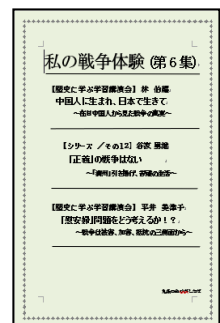
(深草憲法問題研究室主宰、九条の会. ひがしなだ共同代表)

九条の会. ひがしなだ 私の戦争体験（第6集）発刊 歴史に学び、「正義の戦争はない」と訴える

九条の会. ひがしなだの「歴史に学ぶ学数講演会」「私の戦争体験」をまとめた戦争体験シリーズ第6集ができました。

今回は、林伯耀さん「中国人に生まれ、日本で生きて～在日中国人から見た戦争の真実～」、谷家勇雄さん『正義』の戦争はない～『満州』引き揚げ、苦難の生活～、平井美津子さん『慰安婦』問題をどう考えるか！？～戦争は、被害、加害、抵抗の三側面から～」の三編を載せています。

安倍首相が改憲で、「戦争できる国」にしようと執念を燃やしている今、戦争の実体とそれが何をもたらしたかを知ることは意義深いといえるでしょう。普及協力費300円



表現の自由～言いたいことを自由に言える

椋 大樹

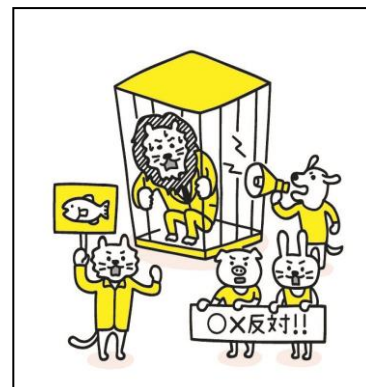
憲法 21 条は表現の自由を保障しています。私たちは、ライオン（権力者）の悪口（政権批判）を含め、自由に言いたいことを言うことができます。これは、①私たちの自己実現、②民主主義の前提、という 2 つの意味で、とても大切です。

しかし、悪口を言われたら、誰でもイヤなものです。もし檻（憲法）がなかったら、ライオンは、悪口を言う人に襲いかかって、黙らせようとするかもしれません。このように、表現の自由には、権力によって傷つけられやすい性質があります。私たちが自由にモノを言えるのは、憲法（檻）が権力（ライオン）を縛っているためです。

日本で、政権批判も自由にできるのが当たり前になったのは戦後、今の日本国憲法が出来てからのことです。

参照『檻の中のライオン 憲法がわかる 46 のおはなし』椋大樹著

（はんどう・たいき、明日の自由を守る若手弁護士の会、ひろしま市民法律事務所）



平和のつどいで前川さんに聞く

朝鮮学校無償化除外問題で

新原 三恵子



I（アイ）女性会議ひょうご、在日本朝鮮民主女性同盟兵庫県本部の主催で、平和のつどいが昨年 11 月、神戸・元町の私学会館で開催され、オモニ（母親）70 人を含め、237 人が参加しました。

朝鮮学校無償化除外問題についての前川喜平・前文部科学事務次官の講演後、朝鮮高校生、オモニたちのナマの声を、多くの方に聞いて貰おうと、前川さんも一緒にディスカッション。前川さんは「個人の尊厳に勝るものはない」「日本に住む全ての子供

達の学習権の保障は、日本政府の義務」「母語の学習で、朝鮮学校は他の外国人への先がけ」と強調。朝高生やオモニたちが、厳しい現実の中で、「多文化共生社会を作ろう」「朝鮮人として、しっかり生きていきたい」と前向きに発言し、多くの方が涙されていました。

前川さんの「明けない夜はない。出口のないトンネルはない。くじけず、粘り強くがんばりましょう」に、参加者全員が元気をもらえた、いい集いとなりました。

<元高校教員、I（アイ）女性会議ひょうご>

オール埼玉総行動に参加 「市民と野党の共闘」で集会の連打！！

白井篤子

大宮駅西口で行われた「11・26オール埼玉総行動」に参加しました。労組、市民、政党などの代表発言のほか、市民連合の山口二郎・法政大学教授が「3年前と違って、野党の指導者は皆、総論として野党共闘を言っている。しかし、野党が候補者を一本化したからと言って、選挙に勝てるものではない。市民の側からも、野党の候補者を押し上げよう。衆参同日選挙をするなら、衆議院も参議院も返り討ちに」と強調。

政党の代表からは、口々に入管法改定許さぬ、の訴えがあり、最後は青年（大学生）と女性の市民連合レッドアクションから、スピーチがありました。

参加者は8000人超とのこと。

帰りに、2日後の市民連合主催「安倍政権に代わる新しい選択肢～改憲発議の阻止と参院選での躍進を目指して」の集会案内のチラシをもらいました。

集会の連打！凄いですね。

(神戸から転居、埼玉県川口市在住)



山元三恵子さん作



わたしのひと言

住宅は恩恵でなく権利

市川（関本）英恵



借り上げ復興住宅「被災者追い出し裁判」では、多数の専門家・識者から、多くの意見書が提出され、様々な視点から「被災者追い出しに問題あり」と指摘されています。その中から本書では、塩崎賢明・神戸大学名誉教授をはじめ学者・医師らの意見書などについて、ポイントをインタビュー形式でお伝えしています。

被災者支援は「恩恵ではなく権利」であること、借り上げ復興住宅の入居者は、健康な生活を営めるよう、「住み続ける権利がある」ことが、この問題の根幹ではないか、と思っています。

このことを世論にも、裁判官にも、もっと広く、強く訴えていく必要性を感じ、2冊目の本を出すことになりました。出版社はクリエイツかもがわ。阪神・淡路大震災から24年目の2019年1月17日、一般書店でも公式発売（1200円＋消費税）されました。

災害列島日本において、住宅の問題を自分の事として考え、借り上げ復興住宅問題についても、良き前例となるよう、ともに声をあげていただけると、嬉しいです。

(「憲法の歌」作詞者、認定NPO法人しみん基金KOBEBE理事、「子どもの権利・神戸」運営委員)

唄

公庄 れい

もう三十年も前の事になるだろうか。ヒロシマで被爆して韓国へ帰った女性たちが、どうにか渡航費を貯めて、初めて広島に来るといふ。宿は被爆者会館を使うが、食事の世話をする人がいない、といふので手を挙げた。彼女たちは昼間、子供時代を過ごした懐かしい所を巡り歩いて、夕食時には話に花が咲く。そのうち、一人がメクチュ、メクチュと言って、戸棚から冷えてないビールを取り出した。ビールがまわると皆、謳い出した。それは全て軍歌だった。

終戦時、十二歳だった私の知らない軍歌もあった。彼女たちは、私より数歳、年上だったのである。

私と同年配とおぼしき人が唄い出した。低く哀調を帯びた、その唄は韓国語で唄われたので、私には意味が理解できなかつたが、心に沁みてくるような唄だった。それから私は、その人に会うたびに、あの歌をもう一度聞かせて、と言つたが、彼女はいつも困つたような笑顔で首を振つた。

今、この時私たちは懐かしいこの地に来ることの出来たことを喜びたい、といふような、その場に臨んでの即興の唄なのだ、と後に他の人に聞いた。子供のとき、故国に帰つた彼女は、それを私に理解させる日本語を持っていなかったのである。

彼女のあの笑顔、彼女は今、生きているかしら……。

(孫たちの将来を案じるお婆ちゃんの会)

催し案内

憲法カフェ「檻の中のライオン」@神戸映サ

日時：2月17日(日) 15:30~18:30 予定

会場：GUSTO HOUSE ギャラリー (神戸市中央区楠町5-3-11-地階)

参加費：1000円(「檻の中のライオン」クリアファイル付き)

要事前申し込み(Eメール、FAX)

申し込み・問い合わせ先：神戸映画サークル協議会

☎078-371-8550/FAX. 078-371-8551

E-mail:kcc1950@kobe-eisa.com

なお、当日午前10時から三木市立市民活動センターで、同様の企画があります

(主催：ピースみき事務局 ☎0794・82・2138)。

「5・3兵庫憲法集会」プレ集会

日時：2月13日(水) 18:30~

場所：神戸市勤労会館7階大ホール

主催：戦争させない、9条壊すな!

総がかり行動兵庫県実行委員会

問合せ先：中神戸法律事務所

(☎078-341-3332)

カンパの郵便振替口座

口座記号 00900-6

番号 0217129

名義 九条の会. ひがしなだ

